

技術 教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を養うことを目指す。

技術 第3学年の目標

・生活や社会を支える生物育成の技術について調べる活動などを通して、技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を養うことを目指す。
 ・生活や社会を支える情報の技術について調べる活動などを通して、技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を養うことを目指す。

※【知】は「知識・技能」、【思】は「思考・判断・表現」、【態】は「主体的に学習に取り組む態度」

月	単元名	学習内容	評価規準	評価資料
4	生物育成の技術	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会と生物育成の技術 さまざまな生物育成の技術 	【知】 <ul style="list-style-type: none"> 作物、動物及び水産生物の成長、生態などについての科学的な原理・法則について理解している。 生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みについて理解している。 	【知】 A、B、C
			【思】 <ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 	【思】 A、B
			【態】 <ul style="list-style-type: none"> 主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。 	【態】 A、B、C
7	生物育成の技術	<ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術による問題解決 これからの生物育成の技術 	【知】 <ul style="list-style-type: none"> 育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる技能を身に付けている。 これまでの学習を踏まえ、生物育成の技術の役割や影響、最適化についてについて理解している。 	【知】 A、B、C
			【思】 <ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだし課題設定について考えている。 条件を踏まえて課題の解決策を構想し、育成計画表等に表すことについて考えている。 育成計画に基づき、記録したデータと作物の生育状況とを比べながら、合理的な解決作業について考えている。 自らの問題解決の工夫を、生物育成の技術の見方・考え方に照らして整理するとともに、課題の解決結果を記録したデータに基づいて考えている。 よりよい地域社会の構築を目指して、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用の在り方について考えている。 	【思】 A、B
			【態】 <ul style="list-style-type: none"> 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。 よりよい地域社会の構築を目指して、生物育成の技術を進んで工夫し創造しようとしている。 	【態】 A、B、C
9 ～ 1	情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御による問題解決 これからの情報の技術 	【知】 <ul style="list-style-type: none"> 計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。 安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。 生活や社会に果たす役割や影響について情報の技術の概念について理解している。 	【知】 A、B、C
			【思】 <ul style="list-style-type: none"> 計測・制御に関わる問題を見いだし、課題設定について考えている。 入出力されるデータの流れをもとに解決策となる計測・制御システムを構想し、情報処理手順の具体化について考えている。 制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業について考えている。 問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正について考えている。 よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、未来に向けた新たな改良、応用について考えている。 	【思】 A、B
			【態】 <ul style="list-style-type: none"> 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 知的財産を創造、保護、及び活用しようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。 よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。 	【態】 A、B、C
2 ～ 3	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 技術分野の学習をふり振り返り、私たちの未来へつなげよう 	【知】	
			【思】 <ul style="list-style-type: none"> 技術にかかわる問題を解決するには、よい面と悪い面の両面を意識し、最適な解決策について考えている。 	【思】 A、B
			【態】 <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会を構築するために、主体的に技術にかかわる態度や技術を工夫し創造しようとしている。 	【態】 A、B、C